

平成28年度学校自己評価システムシート (県立浦和第一女子高等学校・定時制)

目指す学校像	一人一人が大切にされ、落ち着いて学べる教育を推進し、社会ではばたく力を育てる。
--------	---

重点目標	1 「授業がいのち」を合い言葉に、一人一人の学力に応じた丁寧な指導を通して基礎学力の充実を図る。 2 生徒の実態に即したきめ細かな指導を通して将来への展望を拓かせる。 3 地域社会・保護者等と連携した教育活動を推進する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>学習意欲はあるが、学習の方法がわからない生徒がいる。また、生徒間の学力の定着度に差が見られる。</p> <p>課題として、一人一人の能力に応じた指導や学習習慣を定着させる指導などの工夫・改善を行うことがあげられる。また、学習意欲を更に向上させて、基礎学力の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自ら学習に取り組めるように授業環境を整える。 補習等を充実させて生徒の学習時間を確保する。 欠点保有者を減少させる。 	<p>①少人数授業の利点を活かし、一人一人の能力を詳細に把握することでその能力に応じた指導を丁寧に行う。</p> <p>②授業規律の確保について共通認識を図り、生徒が授業に集中できる環境を整える。</p> <p>③学習サポーター等を活用し、補習等を行うことで、基礎学力の定着を図る。</p>	<p>①各教員が生徒のノートや学習プリント等授業における成果物を確認することで、学習方法や学習習慣が身についているが確認する。</p> <p>②授業規律の確保や授業の満足度などについて教員・生徒双方にアンケート調査を実施し、状況を把握する。</p> <p>③学習サポーター等が行う補習授業により多くの生徒を参加させる。</p>	<p>①2学期末の欠点保有者が7名であり、昨年同期よりも改善した。</p> <p>②9割以上の生徒が授業の内容に満足するなど落ち着いて学べる環境が整っている。</p> <p>③学習サポーターが個別の対応を行い、基礎学力の向上に役立っている。</p>	A A B
2	<p>進路実現を目指した計画的な指導の充実に向け、学年別の進路指導体制が整ってきた。結果として、社会性が身につく進路実績も向上している。</p> <p>課題として、生徒がより満足する進路実績が得られるよう、これまで以上に個に応じた指導を展開することがあげられる。また、欠席が多く進路変更となる生徒がいることも課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画的・系統的な進路指導が実践できたか。 生徒の社会性を養い社会ではばたく力を育成できたか。 進路変更した生徒が減少したか。 	<p>①進路指導部が策定した進路指導計画に沿って、一人一人の進路希望の実現にむけて着実に指導を行う。</p> <p>②生徒の成功体験を教員も共有・賞賛し、生徒に自信を持たせる。それらの積み重ねから社会で主体的に活動できる生徒を育成する。</p> <p>③生徒指導部を中心に、基本的生活習慣の確立に向けた指導を強化し、学校生活や社会生活に適應する力を養う。</p>	<p>①計画通りに進路指導が展開され、生徒が希望する進路を実現できたか把握する。</p> <p>②生活習慣や規範意識、学校生活に対する満足度などについて生徒に自己点検させ、生徒の実態を把握する。</p> <p>③成績の向上、進級や卒業、アルバイトへの従事など学校生活や社会生活への関心の高まりが見られたか生徒の様子を確認する。</p>	<p>①「系統的な進路指導」を実践することができ、資格取得やセミナーへの参加を申し出る生徒が増えた。</p> <p>②8割以上の生徒が自身の授業への取組を肯定的に捉えており、2学期末現在で中途退学は3名で昨年同期より減少した。</p> <p>③生徒の学校生活はおおむね安定しており、学校行事に協力して取り組む様子が見られた。また、家庭謹慎等も0件だった。</p>	A A A
3	<p>地域が主催する行事に生徒が参加をして交流を深めている。保護者との連携は、PTA役員の方々と協力して進めている。また、ホームページ等を活用して、積極的な情報発信に努めている。</p> <p>課題としては、教育活動全般に対する保護者の関心を高めることとより多くの方に本校の事を知っていただくことがあげられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事等における来校者を増やす。 より多くの方に、本校の教育内容を知っていただく。 地域との交流を深める。 	<p>①保護者等への情報提供に努め、行事への参加を促す。また、生徒の様子などは家庭に対して密に連絡し、連携した対応を進める。</p> <p>②ホームページ等を積極的に活用し、情報発信に努めると共に、中学校訪問等を行い広報活動に努める。</p> <p>③地域が主催する行事へ積極的に参加する。</p>	<p>①学校行事等における保護者の参加者数や、参加者の満足度などを把握する。</p> <p>②ホームページの更新回数、中学校の訪問回数など状況を確認すると共に、提供資料の内容を向上させる。</p> <p>③地域との交流の頻度や地域の方からの評価を把握する。</p>	<p>①参加可能な全ての学校行事について保護者に参加案内を配布した。保護者アンケートでは、回答した9割が本校を「魅力的である」と回答している。</p> <p>②ホームページを毎週更新し、即時的な情報提供を行った。近隣中学校24校と適応指導教室2カ所を訪問し、本校を案内した。</p> <p>③昨年度末に、地域で行われた祭りの手伝いを行ったが、今年度も参加させたい。</p>	A A B

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成29年2月18日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・欠点者が減少しており、基礎学力が定着していることが伺え、とても良いことである。今後も取組を継続していただきたい。</p> <p>・生徒のアンケートからも学ぶ意欲があることが伺えるので、「勉強させられている」という意識ではなく「将来のために自ら学んでいる」と感じられるような授業を展開していただきたい。</p> <p>・学習サポートは、一人一人の学習状況に応じて指導できる非常に良い取組なので、学校側の工夫で多くの生徒が参加出来る体制を構築して欲しい。</p>	
<p>・生徒一人一人を大切に、きめ細やかに対応している様子が伺える。学校で大切にされた経験が自尊感情を高めるので、自信を持って社会に出ることができものと思われる。</p> <p>・将来どのような分野に進んだとしても、高校時代の学習内容が基礎となる。進路行事等で学んだ内容の定着を図る意味でも、日々の学習を大切にしていきたい。</p> <p>・アルバイトも含め働くことは、生徒にとって大変意味のある体験である。より多くの経験をさせて、自身の進路を考える契機として欲しい。</p>	
<p>・保護者は学校に対して学力向上はもちろんであるが、社会性や協調性の獲得も大きく期待している。その期待に応えるべく、今後も集団で学ぶことの意義を大切にしていきたい。</p> <p>・ホームページは楽しく拝見している。</p> <p>・桜祭りへ参加して良かったとの声をいただき大変うれしく思っている。地域行事への参加をとおして、学校と地域の相互理解が進めばいいと思っている。今後は、他の行事への協力依頼も考えているので、引き続き対応をお願いしたい。</p>	